



日光の歴史ある古文書を次世代につなぐ

会の皆さん(左上から時計回りで吉新さん、北村さん、前野さん、柳田さん、藤井さん、中川(光)講師、中川(仁)講師、柳原代表、矢野さん)

こもんじょ 日光の古文書に親しむ会

活動内容は？
月に一度、興雲律院
住職の中川光熹氏や、
筑波大学准教授の山澤
学氏、大正大学専任
講師の中川仁喜氏(共
に市出身)を講師に迎
え、定例会(勉強会)を
行っています。現在は
日光地域の弥生祭にま
つわる古文書を研究し
ています。

メンバーは？
古文書を愛する20〜80代の23名
です。宇都宮市や栃木
市在住の方もいます。

皆さんは古文書を見たことが
ありますか？博物館のガラ
スクースの中にある、古い書物の
イメージでしょうか？今月は、日
光地域の古文書を研究している
「日光の古文書に親しむ会」の柳原
一興代表にお話を伺いました。

発足したきっかけは？
旧日光市の公民館で古文書の講
座が行われ、その講座が終了した
後、平成17年に継続する形で会が
できました。

また、市民文化祭では学習した
ことを展示して説明を加えたり、ク
イズ形式でPRしたりしています。

会の目的は？
残されている貴重な古文書を一
つでも多く収集し、次世代へつな
いでいくことです。

**古文書の魅力は何です
か？**
分からない文字が読めたときの
喜びや、古文書特有の書式が理解
できるようになると、意欲が湧い
てきます。そして、一枚の文章に
書かれている内容やその背景に、
さまざまな発見があると同時に、
奥深い世界が感じられるようにな
ります。

今ではお目にかからない、漢字
が並んだ文書を読んで、そこに込
められた思いがわかると、その時
代の風景や匂いが鮮明に頭に浮か
ぶこともあります。古文書は、タ
イムスリップしてその時代に生き
た人と対話している面白さを感じ
ることが出来ます。

また、定例会ではメンバーの子
どもの頃の話で盛り上がりたり、
講師も知らない話が飛び出したり、
予想外の展開もあるなど、とても
おもしろいです。

初心者も入会できますか？
定例会では、全員で古文書を読
んでいきます。古文書を見ながら
聞くことから始まるので、初心者
の方も段々に読めるようになって
いきます。また、古文書は文字を
形として覚えるため、子どものほ
うが覚えが早いといわれています。

♡インタビューを終えて
市の社会教育委員長でもあり、
さまざまな活動を行っている柳原
代表は、博識でとても話が面白く、
「古文書も方言と同じで地方に行
けば行くほど、文字が崩れていく
のもおもしろいですよ」と話しま
す。私も古文書の世界を覗いてみ
たくなりました。歴史や古文に興味
がある方は、入会をお勧めします。



和気あいの雰囲気で行われる定例会

※入会を希望する方は…柳原代表(☎54-3600)へ。また、皆さんのご家庭に残る古文書がありましたらぜひご連絡ください